

ライラック吹奏楽祭が開幕 初夏の風と旋律奏でる

札幌市内の児童生徒や大学生が集う音楽の祭典「ライラック吹奏楽祭」が23日から2日間、大通公園で開催された。小・中学校、高校などから53団体が出演。初夏の風が吹き抜ける中、磨き上げた多様なハーモニを響かせ、詰めかけた多くの市民や観光客を魅了した。

吹奏楽祭は「ライラックの花が咲きそろそろ季節に文化の香り高い行事を行おう」との文化人の呼びかけを契機に昭和34年から開始。「さっぽろライラックまつり」の一環として開催されている。大通公園には紫・白のライラック400本が植栽され、初夏の訪れを告げる札幌の代表的なイベントになっている。

会場になった大通6丁目

国公立小中高など53団体出演



演奏する清田高校の生徒たち

は、人気の軽食やスイーツなどの出店が軒を連ねた。グルメを楽しもうと訪れた多くの観衆が座席を埋め、にぎわいを見せた。

このうち市立札幌清田高校吹奏楽局は、吹奏楽の枠にとどまらず、ジャズも演奏する「二刀流」の活動で知られる。地域での演奏や小・中学校との交流を大切に「地域に開かれた吹奏楽部」を目指している。

この日のステージでは、「ザ・チキン」「ウォーターメロンマン」「セブテンバー」の3曲を披露。サクソ、トロンボーン、トランペットなどでジャズ調のリズムを奏でるとともに、かけ声や振り付けも組み合わせながら多彩なパフォーマンスを披露した。

リズムに合わせて体を揺らす人、拍手を送る人で会場は一体感に包まれ、演奏後には大きな手拍子が湧き起こった。

年生の佐藤 さんは「観客の皆さんも一緒に楽しんでくれてうれしい。仲間と一緒に努力を重ね、地域の人たちに活力を与えられる存在になりたい」と笑顔を見せた。

北海道通信

昭和50年6月12日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊教育版

令和 8 年 5 月 28 日 (木曜日) 第 13141 号

5月に開催された『さっぽろライラックまつり』内のイベント「ライラック吹奏楽祭」に吹奏楽局が出演した際、教育情報専門紙『北海道通信』の取材を受けました。

その際の記事が同紙の令和8年5月28日発行
第13141号に掲載されました。

発行元の株式会社北海道通信社から許可をいただき、ここにその記事を掲載いたします。

※生徒の学年・氏名を一部伏せてあります。